



日本風景街道だより

Vol. 36(2020年1月)

「日本風景街道大学 ニセコ羊蹄キャンパス」開催！

明けましておめでとうございます。2017年春の発行から約2年半ぶりの「日本風景街道だより」となりますが、改めて風景街道に関するピックなどを発信していきたいと考えておりますので、ご覧いただけたら幸いです。

今回は、昨年9月に開催された「日本風景街道大学 ニセコ羊蹄キャンパス」の様をお知らせいたします。

日本風景街道大学は、平成22年10月に宮崎市で開講しました。その後、毎年開催されており、貴重な全国交流の場となっています。また、平成24年10月に群馬県嬬恋村で開催された「風景街道サミットinあさま」をきっかけとして、分校が全国各地で開催されています。「日本風景街道大学 ニセコ羊蹄キャンパス」は、令和元年9月20(金)、21日(土)の2日間にわたり、北海道ニセコ町で開催されました。

<< 日本風景街道大学・サミットの開催状況 >>

No.	開催年度	開催年月日	名 称	開催地
1	H22	平成22年10月29～30日	日本風景街道大学	宮崎県宮崎市
2	H23	平成24年1月21～22日	日本風景街道大学	宮崎県宮崎市
3	H24	平成24年10月25～26日	風景街道サミットinあさま	群馬県嬬恋村
4		平成25年1月12～13日	日本風景街道大学	宮崎県宮崎市
5	H25	平成26年1月10～11日	日本風景街道大学	宮崎県宮崎市
6		平成26年2月14～15日	日本風景街道大学 ふじのくに静岡校	静岡県静岡市
7	H26	平成26年11月7～8日	日本風景街道大学 ご縁の国島根校	島根県松江市
8		平成27年1月9～11日	日本風景街道大学	宮崎県宮崎市
9	H27	平成27年11月6～7日	日本風景街道大学 白川郷・五箇山校	岐阜県白川村 富山県南砺市
10		平成28年1月8～10日	日本風景街道大学	宮崎県宮崎市
11	H28	平成28年12月9～10日	日本風景街道大学 ふくしま浜街道校	福島県いわき市
12		平成29年1月6～8日	日本風景街道大学	宮崎県宮崎市
13	H29	平成29年10月27～28日	日本風景街道大学 奥能登絶景街道 珠洲キャンパス	石川県珠洲市
14		平成30年1月5～7日	日本風景街道大学	宮崎県宮崎市
15	H30	平成30年10月20～21日	日本風景街道大学 しずおか校	静岡県静岡市
		平成30年11月2～3日	日本風景街道大学 しずおか校 (浜名湖校・浜名湖ミーティング)	静岡県浜松市
16		平成31年1月11～13日	日本風景街道大学	宮崎県宮崎市
17	R元	令和元年9月20～21日	日本風景街道大学 ニセコ羊蹄キャンパス	北海道ニセコ町

1. 日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパスの概要

今回の風景街道大学は、日本風景街道の取組をシーニックバイウェイ北海道と称し進めている北海道ニセコ町で開催され、国際観光地であるニセコ町の特性を踏まえ、「シーニックバイウェイと観光地域づくり」をテーマとし、ニセコ町のインバウンドの取り組みを紹介したほか、シーニックバイウェイのルート活動とビジネスのあり方、地域を映し出す景観の保全・維持・活用などについて、全国の風景街道関係者とシーニックバイウェイ北海道関係者など、全国各地から約180名が参加、活発な意見交換も行われ、交流を深めました。

また、参加者にシーニックバイウェイ北海道の取り組みそのものを見ていただくことを目的として、シーニックバイウェイ北海道の制度の推進を行い、指定ルート及び候補ルートの指定等を行う「シーニックバイウェイ北海道推進協議会」を共催しました。

9/20(金)	11:00～12:00	第16回 シーニックバイウェイ北海道推進協議会
	13:00～15:05	第一部 ・開会挨拶(石田東生氏:日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパス実行委員長) ・来賓あいさつ(熊川栄氏:NPO法人日本風景街道コミュニティ自治体連絡会会長) ・話題提供、開催地報告、講演 ・ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2018授賞式
	15:20～16:50	第二部【分科会】 ・分科会1 シーニックバイウェイとインバウンド ・分科会2 シーニックバイウェイとビジネス ・分科会3 シーニックバイウェイと景観づくり
	17:00～17:40	第三部 ・各分科会の振り返り・全体統括 ・次期開催地報告(山下政良氏:愛知県田原市市長) ・閉会挨拶(後藤田紘氏:日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパス副実行委員長)
	18:30～20:30	交流会
9/21(土)	7:30～13:30	① 自転車で行くエクスカージョン
	9:00～13:30	② バスで行くエクスカージョン

2. 開催報告

(1) シーニックバイウェイ北海道推進協議会

シーニックバイウェイ北海道では、13の指定ルートと二つの候補ルートにおいて、約400団体が美しい景観づくり、活力ある地域づくり、そして魅力ある観光空間づくりのために様々な活動をされています。シーニックバイウェイ北海道推進協議会は、シーニックバイウェイ北海道制度の運営を行うための各種決定・改善・支援を行う機関であり、年1～2回、会議を開催し、シーニックバイウェイルート・候補ルートの指定を行うとともに、シーニックバイウェイ・ベスト・プロジェクトの選定などを行い、ルートを持続的、効果的に促進させていくための検討を行っています。



シーニックバイウェイ北海道推進協議会
会長 岩田 圭剛氏
(北海道商工会議所連合会 会頭)



第16回 シーニックバイウェイ北海道
推進協議会 会議の様子



新たに候補ルートに登録された
知床ねむろ・北太平洋シーニックバイウェイ

(2) 日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパス 第一部

① 話題提供

話題提供では、「日本風景街道における今後の展開及び道路協力団体制度の活用」として、国土交通省道路局環境安全・防災課課長の渡辺学氏より、話題提供をいただきました。

「①地域活動の継続と支援について」では、パートナーシップ持続の難しさや広域連携の課題について触れられ、その解決策として道の駅や観光施策などとの連携や関係者間の交流の重要性について述べられました。

「②風景街道の今後」では、情報発信の重要性を考慮したポータルサイトのリニューアルや外国人への情報発信の充実化の取組状況についてご紹介いただきました。

「③道路協力団体について」では、全国各地の事例紹介とともに道路協力団体制度の概要や道路協力団体制度による業務内容の充実を図ることや、収益使途の拡大を図るための制度の改善内容についてご説明いただきました。



国土交通省道路局
環境安全・防災課長
渡辺学氏

② 開催地報告

開催地報告は、日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパスの開催地であるニセコ町町長の片山健也氏より、「ニセコ町の概要とインバウンドの取り組み」としてご報告いただきました。

「①ニセコ町におけるシーニックバイウェイ等の地域活動」では、駅前のシーニックヤキニクナットの事例や除雪ステーションを活用したサイクル拠点化の事例等についてご紹介がありました。

「②ニセコ町における自治体改革」では、有島武郎が残したキーワードである“相互扶助”に基づく、ニセコ町の住民自治と民主主義、また、最も重要な公益・公開・公正という哲学の三原則による街づくりの実践や変遷について、道の駅の利活用や環境モデル都市の取り組みを通して、現状や今後の展望等について具体的にお話しいただきました。



ニセコ町長
片山健也氏

③ 基調講演

基調講演は、「日本風景街道のルーツ～シーニックバイウェイ北海道のあゆみ～」と題して、前国土交通省北海道局長の和泉晶裕氏よりご講演をいただきました。

冒頭では、ニセコ町との関わり等、シーニックバイウェイ北海道のルーツともなった背景について当時の世相も含めてお話いただきました。

その後は、シーニックバイウェイの変遷について時系列で紹介いただきました。

「①制度検討期」は、FIT化など観光形態の変化やドライブ観光需要の高まりに加えて、省庁再編等による北海道局の重点施策としてのシーニックバイウェイの提言等に触れ、アメリカ視察の様子、従来の住民参加型ではなく行政参加型のスタイル等について、事例も含めてお伝えいただきました。

「②シーニック10カ条」では、米国リソースセンターのハンカさんのお話「Are you having fun?」から、楽しむことの重要性を盛り込まれた等のエピソードも話されました。



前国土交通省北海道局長
和泉晶裕氏

「③ルート拡大期」では、北海道における指定ルートの増加と道路行政としてのビューポイントパーキング整備等について、地域の方々とのワークショップを通じたコミュニケーションの重要性や民間企業等とのコラボレーション等の展開、その一方で認知度不足や活動継続のモチベーションの維持等についての考察も語られました。

「④今後の展望」としては、高齢化や人口減少、世代交代に対するアプローチやシーニックバイウェイの原点でもあるホスピタリティのあり方等について提言をいただきました。

(3) 日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパス 第二部

第二部では、3つのテーマに分かれて、各3名のパネリストによる事例紹介等を踏まえて、様々な質疑や意見交換を展開する分科会を開催しました。

■テーマ1. シーニックバイウェイとインバウンド(観光地域づくり)

	氏名(所属)	テーマ	概要
座長	原文宏氏 (NPO 法人日本風景街道コミュニティ 理事)	—	—
副座長	佐藤 雄一氏 (静岡県サイクルツーリズム推進協議会 事務局長)	—	—
話題提供	大久保 実氏 (ジャパンプレミアムインターナショナル株式会社 代表取締役)	ニセコエリアの開発 :VFR 旅行の現状と課題	・Visit Friends Relations の増加 ・ニセコ地域の不動産価値 ・観光と生活圏のマネジメント
	小口 良平氏 (諏訪湖ハッポウ自転車活用推進協議会 代表)	アウトドア聖地長野県の自転車 旅～すわ旅～の由縁	・海外でのガイトの重要性と人気 ・サイクルガイドの役割 ・道にストーリーを持たせる重要性
	西村 理佐氏 (プライムトラベル 代表取締役社長)	シンガポールと北海道の交流・ ドライブ観光の課題	・レンタカードライブ用の独自冊子 ・旅の記憶は人との出会い ・故郷で活躍する人材育成



テーマ1. シーニックバイウェイとインバウンド(観光地域づくり)の様子

■テーマ2. シーニックバイウェイとビジネス(活動の継承)

	氏名(所属)	テーマ	概要
座長	白井 純子氏 (NPO 法人日本風景街道コミュニティ 理事)	—	—
副座長	紺野 裕乃氏 (一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター 理事)	—	—
話題提供	水野 宏治氏 (国土交通省 道路局 企画課 評価室長)	「道の駅」でのビジネス展開について	・全国で1,160 駅が展開中 ・道の駅同士の連携促進 ・道の駅の近未来(自動運転等)
	塚越 秋三氏 (NPO 法人徳合ふるさとの会 代表)	日本の原風景:枝垂れ桜の咲く里への回り道	・資金捻出(メロンや薪の販売) ・住民主体の沿道草刈 ・桜の植樹(3,300 人の来訪)
	野村 文吾氏 (十勝シーニックバイウェイトカプチ雄大空間 代表)	トカプチ雄大空間の活動	・雄大空間「造茶話会」未来「ツレ」 ・ライフコンシェルジュ事業 ・トカプチめぐり券、GSOチケット



テーマ2. シーニックバイウェイとビジネス(活動の継承)の様子

■テーマ3. シーニックバイウェイと景観づくり(景観の保全と活用)

	氏名(所属)	テーマ	概要
座長	山内 秀彦氏 (NPO 法人日本風景街道コミュニティ 理事)	—	—
副座長	長内 正宏氏 (北海道開発局 建設部 道路計画課 道路調査専門官)	—	—
話題提供	古谷 和之氏 (支笏洞爺ニセコリゾート NPO 法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会 理事長)	電線・電柱の見えない化 ～景観づくりへの取り組み～	・景観診断による地域資源の再確認 ・心のゆるさと・象徴「羊蹄山」 ・次世代への意志の継承
	ハイディ・パンコウ氏 (コロラドシーニックバイウェイ ユーレイ市観光局 産業メディア・顧客エンゲージメント担当責任者)	コロラドシーニックバイウェイの 取り組み～歴史的景観保全 ～	・歴史的景観を守る評価システム「Visual Impact Assessment」 ・コロラド歴史温泉ループづくり ・米国でも人気の温泉資源の活用
	加藤 千明氏 (日本風景街道 別府湾岸・国東半島海への道 推進協議会 事務局長)	つなぐ道・世間遺産・つながる道	・風景とは日々の暮らしの集積体 ・世間遺産とはみんなが幸せになると思ったものの集積体 ・我々の活動は「子ども達のため」



テーマ3. シーニックバイウェイと景観づくり(景観の保全と活用)の様子

(4) 日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパス 第三部

① 分科会報告

前述した3つの分科会において、先進的な事例紹介に加えて、会場内の参加者と様々な議論が展開されました。各分科会の座長を務めた3名(分科会1:原文宏氏、分科会2:臼井純子氏、分科会3:山内秀彦氏)にご登壇いただき、各分科会の報告をしていただきました。

■テーマ1. シーニックバイウェイとインバウンド(観光地域づくり)

座長の原文宏氏より、「インバウンドは、量より質が大事」であること。また、大久保氏からのキーワード「VFR(Visit Friends and Relatives): 友達や親戚を訪ねる旅」による人と人との関係性。そして、小口氏からは、近年のガイドサイクリングの需要増加の状況や参加者同士の相互交流の重要性。さらには、西村氏からのドライブ観光における「オーセンティック(本物・信頼性)」による“日常を見せる観光のあり方”など、今後の方策検討の必要性について報告されました。



原座長による分科会1の報告

■テーマ2. シーニックバイウェイとビジネス(活動の継承)

座長の白井純子氏より、活動の継承に向けて、野村氏のルート内の観光施設や見どころを巡ってもらう周遊チケット事業「GSO(ガーデン・スイーツ・温泉)チケット」、塚越氏の「グリーンビジネス」、水野氏の「道の駅におけるビジネス」の事例紹介を通して、人・もの・お金・情報の重要性の再認識。また、小さなムーブメントを大きく変える情報受発信の大切さ。さらには、今後、日本風景街道と全国各地の道の駅の連携がさらに強化されること等について報告がなされました。



白井座長による分科会2の報告

■テーマ3. シーニックバイウェイと景観づくり(景観の保全と活用)

座長の山内秀彦氏からは、風景街道のブランド力をどう高めるかという話から始まり、古谷氏の「電線類の見えない化」、シーニックバイウェイ北海道と相互交流を行っている、アメリカのコロラドシーニックバイウェイよりハイディ氏の「歴史景観の保全」、加藤氏の「世間遺産」の事例から共通してあげられた“教育の重要性”等が共有されました。最後に、「シーニック10カ条」の楽しみながら活動することの大切さをパネリストの皆さまから感じたこと等の報告がありました。



山内座長による分科会3の報告

②全体統括

分科会の全体総括として、NPO 法人日本風景街道コミュニティ理事の田中孝治氏から、「シーニックバイウェイや日本風景街道は、道使いの舞台、道が舞台であると同時に、道が道具になり、舞台を作ったり整えたり、道具をどのように使うかということが、実は風景街道がやらなくてはならないことであり、継続的に活動するためには、組織、仕組みというのも必要」、「心を大前提にした上で、技と体を整えていくという必要がある」と総括されました。



田中孝治氏による全体総括

③閉会挨拶

日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパスの閉会として、日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパス副実行委員長(支笏洞爺ニセコルート)のニセコ羊蹄エリア代表の後藤田紘氏による閉会挨拶が行われ、ニセコ町への来訪の感謝とシーニックバイウェイ北海道及び日本風景街道の取組みに対する感謝と今後の展望等について語られました。



後藤田副委員長による閉会挨拶

(5)会場内の様子

①メイン会場

メイン会場となった「大ホール」には、全国各地の風景街道関係者、さらにはアメリカのコロラドシーニックバイウェイ関係者にもお越しいただき、全体として、約180名の方にご参加いただきました。



大ホールの様子

②パネル展示

エントランスでは、「シーニックバイウェイ北海道」の各ルートで行われている活動を紹介するタペストリー(写真左・中央)と、シーニックバイウェイ北海道と連携した取組を進め、水辺利活用を促進し、地域づくり・観光振興に貢献している「かわたびほっかいどう」の活動について紹介するパネル(写真右)を展示しました。



シーニックバイウェイ北海道活動紹介の様子



「かわたびほっかいどう」活動紹介の様子

③シーニックバイウェイ北海道「秀逸な道展」

シーニックバイウェイ北海道にて、現在試行中である全道 15 区間の「秀逸な道」の取組みについて、大型パネルや映像等を使って紹介しました。また、「秀逸な道展」の会場中央部では、シーニックバイウェイ北海道の歩みや後志地域を象徴する国道 229 号のプロモーション動画を大型スクリーン(100 インチ)に投影しました。



「秀逸な道展」の様子

④コロラドシーニックバイウェイの展示

今回、パネリストとしても、ご登壇いただいたコロラドシーニックバイウェイ関係者から、温泉と歴史的資源を重要な観光資源として活用し、サンファン・スカイウェイやアルパイン・ループを中心としてコロラドシーニックバイウェイで取り組んでいる道づくりの活動等を紹介するポスターの展示とパンフレットの配布を行いました。



コロラドシーニックバイウェイの展示の様子

⑤包括連携協定企業等の取組紹介

シーニックバイウェイ北海道と「包括連携協定企業」及び「協力団体及び機関」の連携による、さまざまな取組を紹介するとともに、パンフレット、出版物等の各種コラボグッズを展示しました。



包括連携協定企業等の取組紹介の様子

⑥シーニックカフェ:移動販売車

道路協力団体の取組みとして、現在、支笏洞爺ニセコルートで展開中のシーニックカフェ(移動販売車)も、今回、特別に出店しました。通常販売しているソフトクリームに加え、十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルートから、特別にブレンドされたオリジナルコーヒー「ひなたぼっこブレンド」を販売し、参加者からも大変好評でした。



シーニックカフェの様子

⑦シーニックマルシェ

全国各地からの参加者に対するおもてなしメニューの目玉として、シーニックバイウェイ北海道の2ルート及びシーニックバイウェイ支援センターが「シーニックマルシェ」に出店しました。それぞれの地域の特産品やオリジナルグッズ等を販売することで各地からの参加者との交流も楽しんでいました。



NPO 法人きもべつ WAO
(支笏洞爺ニセコルート)



NPO 法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会
(支笏洞爺ニセコルート)



勝手におすすめ委員会
(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ)



(株)ニセコリゾート観光協会
(支笏洞爺ニセコルート)



シーニック×日本風景街道コラボグッズ
(シーニックバイウェイ支援センター)

ルート・機関名	出展団体	主な販売品
支笏洞爺ニセコルート	NPO 法人きもべつ WAO	あげじゃが・ゆできび
	NPO 法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会	野菜ギフト スイーツ「じゃが太ルト」試食
釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ	勝手におすすめ委員会	勝手におすすめ委員会 選定商品 シーニックカフェ商品
ニセコリゾート観光協会	(株)ニセコリゾート観光協会	ニセコギフト各種
シーニックバイウェイ北海道	シーニックバイウェイ支援センター	オリジナルパーカー・ポロシャツ等

⑥ニセコ町特製ランチ

20日(金)の昼食時には、ニセコ町産の食材のみで作られた温かいカレーとトッピングとして、季節の野菜詰め合わせセットが参加者にふるまわれました。



心温まるランチに参加者も大喜び

(6)交流会

日本風景街道大学ニセコ羊蹄キャンパスの全プログラム終了後、会場をヒルトンニセコビレッジに移し、交流会を行いました。交流会では、北海道産の食材を使った料理やお酒等がふるまわれ、各地からの参加者やシーニックバイウェイ北海道推進協議会審査委員の紹介、おもてなしステージが展開されました。

おもてなしステージでは、ホストルートである支笏洞爺ニセコルートの有志「おやじダンサーズ」とスペシャル楽団が交流会を大いに盛り上げました。おもてなしステージ3曲目の「365歩のマーチ」では、参加者全員が1つの大きな輪になり、その光景は圧巻でした。交流会の最後には参加者全員で記念撮影をしました。



「おやじダンサーズ」とスペシャル楽団による饗宴



会場が一つの輪になった「三百六十五歩のマーチ」



参加者全員での記念写真

(7) エクスカーション(2日目 午前)

① 自転車で行くエクスカーション

自転車エクスカーションには、40名が参加しました。秋晴れで絶好のサイクリング日和の中、今年度新たに整備されたサイクル拠点スタート地点とし、常に羊蹄山を眺めながら、ニセコ町と真狩村、京極町の各所(約40km)を自転車でめぐり、エドポイントでは、ご当地の食や飲み物等を楽しんでいただきました。



羊蹄山を背景に心地よいライド



ゴールの「道の駅名水の郷きょうごく」での記念写真

② バスで行くエクスカーション

バスエクスカーションには、40名が参加し、ニセコ町のまちづくり関連施設等についてニセコ町長の片山健也氏によるガイドを受けました。また、「秀逸な道」区間や「ビューポイントパーキング(倶知安町八幡地区・喜茂別町相川地区)」では、支笏洞爺ニセコルートで行われている美しい景観を守り、育てる活動等について、地域活動団体メンバーから紹介があり、立寄り先では、越冬ニンジンジュースや枝豆等が提供されました。



バス車中からも「秀逸な道」等の美しい景観を楽しめました



電線類の見えない化の取り組みが行われた「八幡ビューポイントパーキング」での記念写真

③ エクスカーション合同ランチ「なまら北海道バーベキュー」(2日目 午後)

両エクスカーション参加者がニセコ町の「みらいの森」特設会場に大集合。道内各地から取り寄せたジンギスカン(計4種)の食べ比べや寿都町の鮭を使ったチャンチャン焼き、新鮮な野菜といったさまざまな食材を地域の活動団体メンバーが手作りメニューでもてなし、海から山までの素材を満喫できる「なまら北海道バーベキュー」で秋の北海道の味覚を堪能していただきました。



くっちゃん名物「いもっこ汁」も振舞われました



北海道らしいソバーペキューに参加者も大満足

執筆:中村 幸治 (支笏洞爺ニセコルート ルートコーディネーター)

((一社)北海道開発技術センター 調査研究部 主任研究員)

※「日本風景街道大学 ニセコ羊蹄キャンパス」の発表資料等については、NPO 法人日本風景街道コミュニティHPで紹介されていますので、こちらもぜひご覧ください。

→http://sbcj-community.org/news/post_1243

日本風景街道は、現在、全国で 143 ルートが登録されています (令和元年 12 月末現在)

各風景街道の概要は、日本風景街道のウェブサイト(<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/>)、もしくは各風景街道地方協議会ホームページで閲覧することができます。

12 月 11 日に関東地方ブロックで新たに「**信州ビーナスライン茅野**」が登録され、日本風景街道は 143 ルートとなりました！！

東北風景街道協議会 (20)

2-1 のしろ白神の道	2-21 出羽の古道六十里越街道
2-2 ふくしま浜街道ハッピーロード	2-12 城下町あいづ草街道
2-3 みちのくおとぎ街道	2-13 広瀬川せせらぎ緑道
2-4 菅江真澄と巡るあきたの道	2-14 弘前まちなか散策街道
2-5 桑折宿まちなか街道	2-15 越後米沢街道・十三峠
2-6 忘れられた道連りの歴史と絶景を「江戸の旅日記から感じる道」	2-16 釜石「鉄のみち」
2-7 鱒巻海道	2-17 十和田奥入瀬浪漫街道
2-8 奥州街道 温故知新の道	2-18 奥州街道と縄文のみち
2-9 青森エントランスロード	2-19 黄たねの東むつ湾ルート
2-10 菓子の松街道	2-20 磐梯吾妻スカイ・レーク・ゴールドライン

シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (13)

1-1 支笏洞爺ニセコルート	1-9 十勝シーニックバイウェイ〜トカプテ雄大空間
1-2 大雷・富良野ルート	1-10 十勝シーニックバイウェイ〜南十勝夢街道
1-3 東オホーツクシーニックバイウェイ	1-11 札幌シーニックバイウェイ〜藻岩山麓・定山溪ルート
1-4 余谷シーニックバイウェイ	1-12 どうなん・追分シーニックバイウェイ
1-5 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	1-13 天塩川シーニックバイウェイ
1-6 函館・大沼・噴火湾ルート	
1-7 萌える天北オロンルート	
1-8 十勝シーニックバイウェイ〜十勝平野・山麓ルート	

中国地方風景街道協議会 (9)

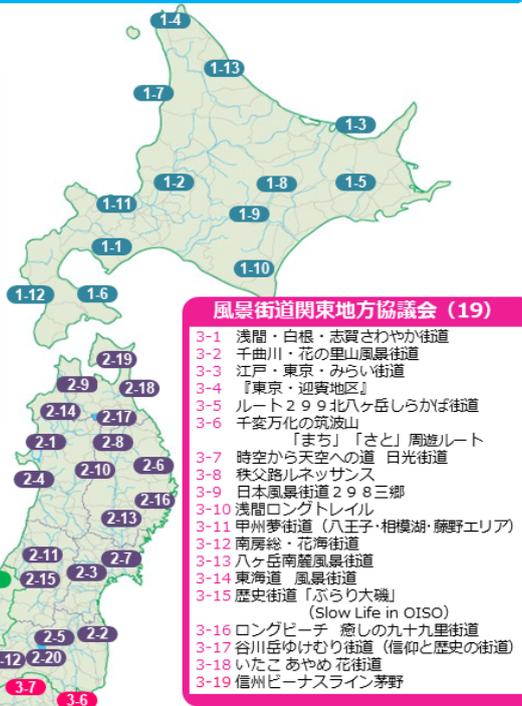
7-1 R185さざなみ海道
7-2 歴史街道「秋住道」
7-3 人間文化の原風景〜ご縁をつなぐ神仏の通ひ路〜
7-4 本州最西端の道「風波のクロスロード」
7-5 しまなみ風景街道
7-6 大山遠望歴史の道
7-7 風待ち海道〜隠岐まるごとミュージアム〜
7-8 銀山街道・陰陽結ぶ銀の道
7-9 新国幡ライン〜ふるさとに出会う幸福(29)ロード〜

北陸風景街道協議会 (11)

4-1 日本海パークライン
4-2 北アルプス大展望・最長最古の塩の道ルート
4-3 金沢城下 野町・弥生誘い街道
4-4 奥能登絶景海道
4-5 良寛も歩いた弥彦浪漫の道
4-6 日本の原風景「枝垂れ桜の咲く里への回り道」
4-7 飛越交流ぶり・ノーベル出世街道
4-8 よりみち街道『中越』
4-9 越後妻有里山回廊
4-10 佐渡国しま海道
4-11 白山眺望街道

九州風景街道推進会議 (15)

9-1 日南海岸きらめきライン
9-2 日豊海岸シーニック・バイウェイ (蒲江・北浦大魚海道)
9-3 ながさきサンセットロード〜橋でつながる教会と歴史の道〜
9-4 北九州おもてなしの“ゆっくりかいどう”
9-5 ちょっとよりみち 唐津街道むなかた
9-6 かごしま風景街道
9-7 玄界灘風景街道
9-8 九州横断の道 やまなみハイウェイ
9-9 九州横断の道 阿蘇くまもと路
9-10 「豊の国歴史ロマン街道」〜小倉・足立山から宇佐の森へ〜
9-11 みどりの里・耳納風景街道
9-12 別府海岸・国東半島海への道
9-13 あまくさ風景街道
9-14 薩摩よりみち風景街道
9-15 島原半島海山街道〜歴史と水と温泉のまち〜



風景街道関東地方協議会 (19)

3-1 浅間・白根・志賀さわやか街道
3-2 千曲川・花の里山風景街道
3-3 江戸・東京・みらい街道
3-4 「東京・迎賓地区」
3-5 ルート299北八ヶ岳しらかば街道
3-6 千姿万化の筑波山「まち」「さと」周遊ルート
3-7 時空から天空への道 日光街道
3-8 秩父路ルネッサンス
3-9 日本風景街道298三郷
3-10 浅間ロングトレイル
3-11 甲州夢街道 (八王子・相模湖・藤野エリア)
3-12 南房総・花海街道
3-13 八ヶ岳南麓風景街道
3-14 東海道 風景街道
3-15 歴史街道「ぶらり大磯」(Slow Life in OISO)
3-16 ロングビーチ 癒しの九十九里街道
3-17 谷川岳ゆけむり街道 (信仰と歴史の街道)
3-18 いたこあやめ花街道
3-19 信州ビーナスライン茅野

風景街道中部地方協議会 (20)

5-1 日本風景街道「伊勢熊野みち」	5-11 美濃白川 四季彩街道
5-2 ぐるり富士山風景街道	5-12 民俗芸能と南北朝歴史浪漫のみち「秋葉街道」
5-3 二つのアルプスに抱かれ「信州伊那アルプス街」	5-13 南信州パノラマ街道
5-4 新しさからなつかしさの道〜中馬街道〜	5-14 きらり三橋志摩ゆうやけ道
5-5 こころのふるさと「木曽路」中山道	5-15 東海道「駿河2峠6宿 風景街道」
5-6 渥美半島菜の花浪漫街道	5-16 信州遠山郷「天に至るまつり古道」
5-7 信州みのわ花街道	5-17 大井川流域「南アルプスへの道・お茶の道」
5-8 古道ロマン「東山道」	5-18 「合掌・さくら」飛越街道
5-9 「なごみの伊豆」	5-19 飛騨高山風景街道
5-10 浜名湖サイクリングロード	5-20 下呂湯めぐり街道

近畿風景街道協議会 (19)

6-1 日本文化のクロスロード (横大路・下ツ道)	6-11 愛宕街道 (京都鳥居本)
6-2 新世紀くらわんかストリート	6-12 悠久の竹内街道
6-3 丹後半島「古代ロマン街道」	6-13 三国湊のみち・海・緑・そしてひとを結ぶみち
6-4 日本風景街道 熊野	6-14 但馬漁火ライン
6-5 日本風景街道伊勢街道	6-15 日本風景街道まほろば
6-6 御所まち近世参籠街道〜近世物流の要所〜	6-16 日本風景街道〜難波宮と大阪・熊野街道〜
6-7 中之島・大川・御堂筋回廊	6-17 美山かやぶき由良里街道
6-8 若狭熊川・鯖街道	6-18 ふくいやまざわ天下第一街道
6-9 琵琶湖さざなみ街道・中山道	6-19 西の鯖街道
6-10 たんば三街道	

四国風景街道協議会 (15)

8-1 いやし・もてなし神山街道	8-11 三好市秘境ロマン街道
8-2 むれ瀬平石あかりロード	8-12 〜オーシャンビュー〜南阿波 サンライン・風景海道
8-3 瀬平ロマン街道	
8-4 南いよ風景かいてろ	
8-5 土居柳中	8-13 えひめ やまなみ燐々風景街道
8-6 四方かいてろ	
8-7 光まわり回廊〜阿南〜	8-14 土佐市ドラゴン風景街道
8-8 美馬市まほろば夢街道	8-15 うたづみ昔ロマン街道
8-9 砥部陶街道	
8-10 土佐のまほろば風景街道	

沖縄地方風景街道協議会 (2)

10-1 琉球歴史ロマン街道「備道」
10-2 やんばる風景花街道

風景街道地方協議会及び連絡窓口はこちらへ

風景街道の活動を積極的に支援するために、各風景街道地方協議会に連絡窓口を設置しております。
日本風景街道に関するご相談等がございましたら、風景街道地方協議会の連絡窓口までご連絡ください。

◆風景街道地方協議会の連絡窓口一覧

担当部署	担当者氏名	電話番号
シーニックバイウェイ北海道推進協議会 (北海道開発局 建設部 道路計画課 内)	長内 正宏	011-709-2311(代表) (内線 5845)
東北風景街道協議会 (東北地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	関 長英	022-225-2171(代表) (内線 4261)
風景街道関東地方協議会 (関東地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	小野寺 純一	048-601-3151(代表) (内線 4252)
北陸風景街道協議会 (北陸地方整備局 道路部 地域道路課 内)	高崎 洋一	025-280-8880(代表) (内線 4613)
風景街道中部地方協議会 (中部地方整備局 道路部 計画調整課 内)	小川 喜睦	052-953-8171 (内線 4312)
近畿風景街道協議会 (近畿地方整備局 道路部 地域道路課 内)	山田 真一	06-6942-1141(代表) (内線 4612)
中国地方風景街道協議会 (中国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	荒木 俊輔	082-221-9231(代表) (内線 4613)
四国風景街道協議会 (四国地方整備局 道路部 地域道路課 内)	山本 崇	087-851-8061(代表) (内線 4612)
九州風景街道推進会議 (九州地方整備局 道路部 道路計画第二課 内)	松木 厚廣	092-471-6331(代表) (内線 4252)
沖縄地方風景街道協議会 (沖縄総合事務局 開発建設部 道路建設課 内)	大城 元秀	098-866-1914 (内線 4353)

【ご意見をお寄せください】

日本風景街道だよりは、地域の皆様へ様々な情報を提供することを目的としています。
掲載内容などご意見・ご感想がございましたら、下記までお気軽にお寄せください。

日本風景街道だより

<http://www.mlit.go.jp/road/sisaku/fukeikaidou/index.html>

発行：国土交通省道路局環境安全・防災課
東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL: 03-5253-8111(代表)(内線 38223)
FAX: 03-5253-1622